



ポラン通信

vol.11

2023年のポラン動物病院は？

2023年12月

今年は新型コロナウイルス感染症も5類となり、久々に旅行に行ったり外出や外食も多くなった年ではないでしょうか。いっぽうで、コロナ禍のペットブームが終焉を迎えました。しみじみ動物の生き方は人間に左右されると実感した一年でした。今年を振り返り、来年どうしようかなーというまとめと雑感です！

ペットフードバンク始めました！

今年の2月からスタートした「ペットフードバンク」。みなさんの余分なフードを必要とする方に渡すというのですが、当院ではお渡しする対象を「地域猫の餌やりさん」とするところが特徴です。近年の物価高騰によりペットフード代も高額に。自宅のペットのフード代も大変なのに、地域猫のフード代なんてとてもできません。しかし、練馬区は地域猫活動を推奨しています。地域猫活動では外猫を捕獲して不妊するだけでなく、清潔な餌やりやトイレ管理を継続し続けることが必要です。少しでも餌やりさんの負担を減らすために、フードバンクをスタートしました。これはたんに「猫好きだから」ではなく、地域猫活動を連携して行い、「外猫の数を減らすこと」を目的としております！思いのほかあんちゃんのフードも集まっているので、こちらは「日本動物福祉協会」さんのシェルターに定期的に送らせていただいております。今後ともよろしく願いたします！ありがとうございます！

今後のポラン保護活動は？

今年は印象的だったのが、福祉事務所から相談された「亡くなった独居高齢者の方の遺された猫二頭の保護」です。無事に譲渡されましたが、今後こういった「身寄りのなくなった保護動物」は増えるのではないかと推察しております。まずは自分から！何かあった時のペットの対策をしましょう。当院には「ペットの記録」という冊子を無料でお配りしています。よかったらお使いくださいね。

2023年活動内容

保護頭数	7頭
譲渡頭数	4頭
死亡頭数	0頭
滞在頭数	5頭
譲渡合計 (2019年 より)	72頭

どうする？譲渡会

さて、去年から開催している保護猫の譲渡会。今年は子猫がない(とても良いことなのですが!)という地味さから、どうにもこうにも参加者の数が伸び悩んだ感があります。ただ、大人猫しかいないことをわかりつつ参加される方は、きちんと保護猫について真剣に考えられている方が多い印象でした。当院の参加猫たちは超超超★地域密着な、地元で保護された猫たちばかりなので、大人猫が多いです。譲渡会を開催する場がいたるところに増え、愛護センターや遠方から子猫がどんどんやってくる団体などに比べると、どうしても当院の譲渡会は地味になります。しかし「これが地域の問題・課題」として浮き彫りとなり、ご理解いただいたうえで地元練馬で猫を譲渡されるのは、「地域の問題、地域で解決!」もしくは「地産・地消」?と、大変理想的な流れと言えます。保護猫がいなければもちろん開催はしませんが、いる限りは不定期でも続けていきたいと思えます。もちろん練馬近郊であれば都内、埼玉の方でも里親さん希望は大歓迎です!

地域の方とともに保護動物について考えるきっかけとなりうる場ですので、気軽に来ていただきたいですし、今後とも応援よろしく願いいたします!

この時期の犬のお散歩豆知識

日が暮れるのが早いので暗くても視認性の高い服装にしましょう!

